

<b>教育目標</b>	
その子らしさを大切に たくましく生きる力の基礎を培う	
<b>年度末の最終評価</b>	
自己評価	<p><b>教育目標の達成状況、次年度に向けた見直し</b></p> <p>一人一人の子どもの状態や心の動きを大切にし、その子どもに合ったかかわりを考えかかわってきた。教職員はありのままの子どもの思いをまずは十分に受け入れ、子どもが安心して幼稚園生活を十分に楽しめるようにしてきた。子どもが心を開放し自分の力を十分に発揮し満足感を味わうことで、子ども自らいろいろなことにかかわり生きる力の基礎を培えるように、引き続き子どもの良さを大切にしておきたい。</p>
学校関係者評価	<p><b>学校関係者による意見・支援策</b></p> <p>園児が減少し園児獲得を意識していた時期があったが、学校運営協議会で教育論や公立幼稚園の良さを話しあえる場になってきた。</p> <p>幼児期の記憶は、大人になってもよく覚えている。幼児期がいかに大切であるか、教え込みより自分の思いを伝えられる人間に育ててほしい。幼稚園の時に興味のあることを見つけいろいろな意見をもった人とかかわる中で学んだことが小学校につながり中学校高校へと続いている。西院という地域や小中学校との連携が取れている中で、保護者だけで子育てをするのではなく、これからもみんなで子どもを育てていきたい。</p>

学校関係者評価の評価日・評価者

	評価日	評価者
中間評価	令和5年10月24日	学校運営協議会
最終評価	令和6年3月22日	学校運営協議会

(1) 幼稚園教育（保育の改善・充実）について

<p><b>具体的な取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもや保護者との信頼関係をしっかりと築き、親子共に安心安全に過ごせる幼稚園を目指し取り組んでいく。</li> <li>・子どもの行動や姿のみに捉われず、子どもの思いを丁寧に見取り、内面を理解してかかわり、一人一人の思いに沿ったかかわりを大切にして保育を進める。</li> <li>・多方面から子どもの姿を捉え、記録したり、日々子どもの姿を教職員間で話し合ったり、保育を振り返ったりして保育の充実を図る。また、教育委員会や専門機関の先生から学んだことを活かし保育の質を高める。</li> <li>・教師も一緒に遊び、自ら遊びたくなったり表現したくなったりする環境や自然に触れたりいろいろな体験を通したりして学べる内容を考える。</li> <li>・子どもが安心して自分の素直な思いが出せたり、居心地が良いと感じられたりするクラスづくりを目指す。</li> <li>・ICTを保育に取入れ、子どもが経験や学びを深めていく。</li> </ul>
--

(取組結果を検証する) 各種指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の保育や園内研究保育、記録やエピソードなどを通しての研究協議</li> <li>・週案の反省、評価、改善、保育環境の構成及び検証</li> <li>・アンケート項目「幼稚園に楽しんで通っている」「自分から遊びを見つけ、楽しんで遊んでいる」「友達と遊ぶことが好きである」「自分の思いや考えを言葉で伝えている」「体を動かして遊ぶことが好きである」「絵本やお話が好きである」「動植物を大切にしている」</li> </ul>

中間評価

各種指標結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・週案やエピソードを教員全員で共通理解をし、検討や見直し、子どもの姿を読み取る研修を多くもつことができた。また、担任だけでなく教員全員で環境構成を行い見直し実践している。</li> <li>・アンケート項目より 回答者（保護者26名 教職員 12名 計38名）  A よくあてはまる B あてはまる AB 両方の%  「幼稚園に楽しんで通っている」(A33/38 B5/38 100%)  「自分から遊びを見つけ、楽しんで遊んでいる」(A28/38 B9/38 98%)  「友達と遊ぶことが好きである」(A34/38 B4/38 100%)  「自分の思いや考えを言葉で伝えている」(A16/38 B16/38 86%)  「体を動かして遊ぶことが好きである」(A34/38 B4/38 100%)  「絵本やお話が好きである」(A28/38 B8/38 98%)  「動植物を大切にしている」(A23/38 B14/38 99%)</li> </ul>

自己評価	分析 (成果と課題)
	<p>保護者の方から「子どもたちが楽しんで園に通っている」「子どもに寄り添ってもらっている」等のご意見をいただき、園に協力的なご家庭が多くありがたく思っている。この思いに応えるようにこれからも信頼関係を十分に築き取り組んでいく。</p> <p>また、週案及び日々の記録やエピソードから保育を振り返ったり、教育委員会の先生に来ていただき研究保育をして、教師のかかわりや環境構成について学んだりしてきた。これからも、発達を十分に踏まえ子どもの姿を丁寧に読取り、日々、子どもの内面理解に努め子どもの発達や育ちを考えより子どもが楽しめる環境を整えていきたい。</p>
	分析を踏まえた取組の改善
	<p>幼稚園に楽しんで通っている、友達と遊ぶことが好きである、体を動かして遊ぶことが好きであるは、ほぼ100パーセント、自分の思いや考えを言葉で伝えている、絵本やお話が好きである、動植物を大切にしているなどの項目の評価がやや良好である。絵本やお話しが好きな子どもも昨年より、読書ノートから絵本をたくさん読んでおられる家庭が増えてきている。また、園ではよく話していても、保護者の前ではなかなかよく話す姿を見せない子どももいて、園と保護者と印象の違いもみられることもある。</p>
	(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標
	前期に準ずる。

学校関係	学校関係者による意見・支援策
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非認知能力は、成績でははかれないものである生きていく力やコミュニケーション能力、チーム力など、西院幼稚園では以前からやっていること。それをもっと多くの方に知らせ押ししていく</li> </ul>

者 評 価	<p>ことが大切である。また、非認知能力はいくつになっても高め育てられるものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれ園の特徴があり、みんなでどんな子どもを育てるのかを考え、みんなで育てていってほしい。</li> </ul>
-------------	--

最終評価

	<p><b>(中間評価時に設定した) 各種指標結果</b></p> <p>・子どもの姿をよく観察し、内面理解を図り、子どものことについて日々話し合ってきた。また週案やエピソードを検討や見直し、発達を意識した環境構成やかかわりを検討し実践してきた。</p> <p>アンケート項目より 回答者（保護者（未就園児含）45名 教職員 12名 計57名）</p> <p>Aよくあてはまる Bあてはまる AB両方の%</p> <p>「幼稚園に楽しんで通っている」(A46/57 B11/57 100%)</p> <p>「自分から遊びを見つけ、楽しんで遊んでいる」(A37/57 B17/57 94%)</p> <p>「友達と遊ぶことが好きである」(A42/57 B10/57 91%)</p> <p>「自分の思いや考えを言葉で伝えている」(A25/57 B23/57 84%)</p> <p>「体を動かして遊ぶことが好きである」(A43/57 B9/57 91%)</p> <p>「絵本やお話が好きである」(A38/57 B16/57 94%)</p> <p>「動植物を大切にしている」(A27/57 B23/57 87%)</p>
自 己 評 価	<p><b>分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題</b></p> <p>幼稚園に楽しんで登園している子どもは未就園児も含め100%である。自分から遊びを見つけ楽しんでいたり友達と遊ぶことが好きの項目も良好である。</p> <p>動植物を大切にしている子どもが少ないので、親しみをもてる環境を構成していく必要がある。</p>
	<p><b>分析を踏まえた取組の改善</b></p> <p>動植物を身近に感じられるように環境を用意し、その中で命の大切さ知らせていきたい。</p> <p>絵本についての項目は、年々高評価をいただけるようになってきた。これからも、絵本を充実させ、読み聞かせやお話の世界を広げていきたい。</p>
学 校 関 係 者 評 価	<p><b>学校関係者による意見・支援策</b></p> <p>絵本室にはたくさんの絵本はある。絵本がたくさんあり、学び部会の方を中心にPTAが絵本ボランティアとして活動していることは、西院幼稚園の特色である。親子共に絵本を大切にする気持ちが育つ。</p> <p>修了式に参列し、ハッピーな修了式だった。保護者の様子を見て、日常的に温かい雰囲気の中で子どもを見ているのだろうと思った。</p>

**(2) 架け橋期の教育の充実に向けた幼保小連携・接続に関して**

	<p><b>具体的な取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼小互いの授業や保育を参観し研究協議をしたり、教員同士の研修を行ったりして、幼小接続に向けて保育の充実を図る。</li> <li>・幼小の交流や教員同士の研修の内容を保護者や地域の方に伝え、安心して小学校へ就学できるようにする。</li> </ul>
	<p><b>(取組結果を検証する) 各種指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校との研究協議の結果</li> <li>・小学校教員の方からの保育参観後のアンケート</li> </ul>

- ・アンケート項目「幼稚園・小学校の連携ができています」
- ・幼小交流時の子どもの様子

中間評価

各種指標結果

- ・教職員同士のかかわりを通して話し合うことができ、幼稚園理解や子ども理解を共に図ってきた。
- ・アンケート項目「幼稚園・小学校の連携ができています」(A25/38 B10/38 96%)

自己評価

分析(成果と課題)

6月に幼稚園の教員が1年生の授業参観に行き、その後研究協議を行った。また、8月には、幼小の教員が京都府幼児教育研究協議会の動画を視聴し、グループ協議を行い、幼稚園の保育や互いに生かせることなどを学んだ。

今後、生活科の授業等に参加させていただき、園児と児童の交流を行ったり、11月は幼稚園の保育を参観してもらったりして、考えていきたい。

また、架け橋プログラムについて深めていきたい。

分析を踏まえた取組の改善

保護者の方に幼小の取り組みや、架け橋プログラムについてまだまだ浸透していない。理解していただくように細やかに知らせていきたい。

(最終評価に向けた)取組の改善を検証する各種指標

前期に準ずる

学校関係者評価

学校関係者による意見・支援策

- ・西院学区には昔から校園連盟があることは、他の学区ではびっくりされている。西院小学校と幼稚園の取り組みはかなり進んでいる。この西院のしくみをもっと広めていくにはどうしたらいいか考えていく。

- ・保育園と幼稚園の考えが違ったため、ばらばらだったが、幼児期に育てたい10の姿というのができた。子どもにつけてもらいたい力は、主体的対話的深い学びにつながる能力で、工夫する考えるつくりだすなどの力である。

幼稚園の保育はそうになっているので、見ることによって参考になる。また、幼稚園では一人一人をよく見て保育を行っている。このような学びのつながりを幼稚園から小学校へどのようにつなげていくのか。

最終評価

各種指標結果

- ・今年度は、子どもとの交流や教職員同士研修を行うことができた。幼稚園理解や子ども理解を共に図ってきた。
- ・アンケート項目「幼稚園・小学校の連携ができています」(A34/57 B20/57 94%)

自己評価

分析(成果と課題)、重点目標の達成状況、次年度の課題

年長児が小学校に出かけ、1年生と交流をすることで、連携していることがわかりやすく保護者に伝わった。子どもも1年生のお兄さんお姉さんと出会い、小学校を見学することで、小学校の様子を知ることができた。西院幼小の教員研修を年に4回行うことができた。次年度は、近隣の小学校や地域の保育所幼稚園に声をかけ、架け橋プログラムとして研修を行っていきたい。

分析を踏まえた取組の改善

年間計画をしっかりとたて、交流や研修の充実を図る。また、今年度の話し合いをもとに改善し、次年度に積み重ねていきたい。

学校関係者評価	<p><b>学校関係者による意見・支援策</b></p> <p>子どもの表面的な姿を見て指導するのではなく、その時何を子どもは学んでいるのかということや幼稚園ではされている。幼稚園では、意図的に環境を用意され子ども自らが気づき学べる環境を用意させている。幼小研修会を通して互いに話し合っている先生方の熱心な姿に圧倒した。小学校と幼稚園が近くでしっかりと連携されている。自分は違う学区なのでとても羨ましい。</p>
---------	--

### (3) 預かり保育に関して

<p><b>具体的な取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担任、預かり保育担当者、保健職員の連携を密にして、子どもの心身の負担に配慮しながら保育を考えるようにする。健康管理、親子関係、人間関係などを共通理解し、同じ方針で取り組む。</li> <li>・家庭との緊密な連携を図り、情報交換しながら、家庭の負担も少なくし、子どもを共に育てるという思いで取り組む。</li> <li>・地域の方などの外部講師を招き、いろいろな催しを行い、子どもの経験が豊かになるようにする。</li> <li>・早朝預かり保育や18時まで預かり保育を行い、働く保護者支援を十分に行う。</li> </ul>
<p><b>(取組結果を検証する) 各種指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり保育の記録内容 参加人数</li> <li>・アンケート項目「子どもは預かり保育に喜んで参加している」「預かり保育の様子がよくわかり安心できる」</li> </ul>

### 中間評価

<p><b>各種指標結果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・預かりを参加している子どもの様子や言動から、子どもの姿を探る。</li> </ul> <p>預かり保育参加者も少しずつ増えてきている。</p> <p>アンケート項目</p> <p>「子どもは預かり保育に喜んで参加している」((A28/38 B3/38 94% )</p> <p>「預かり保育の様子がよくわかり安心できる」(A21/38 B8/38 90% )</p>
<p><b>自己評価</b></p> <p><b>分析(成果と課題)</b></p> <p>一人一人が安心して参加できるように担任と預かり保育担当者が連携を取りながら、子どもの心や体調を考え参加できるように努めている。早朝8時からの預り保育に参加する子どもが増えた。今年度は早くから年少児の参加も多く、預かり保育を楽しみにしている子どもも多い。また異年齢の関わりも十分にでき、名前を呼合い兄弟のように過ごしている。</p> <p>未就園児3歳児の預り保育利用者も増えている。</p> <p>いろいろな経験を大切にしたいと思い外部講師の方に園に来ていただきサッカー教室や絵本の読み聞かせ、英語で遊ぼう、つくって遊ぼうなどイベントを行っている。イベントのある時は参加者も増え楽しんでいる。</p>
<p><b>分析を踏まえた取組の改善</b></p> <p>預かり保育に楽しんで参加する子どもが増えてきた。早朝や16時以降預り保育を利用する子どもも安定し、落ち着いて過ごしている。</p> <p>3歳児が利用する時、場合によっては安心して保育を行い過ごせるように、別で保育を行う必要がある時がある。また眠たくても寝れない現状があるので、安心してお昼寝ができるようにし</p>

	ていきたい。
	(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標 前期に準する
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策 ・預かり保育を楽しんで参加していることはよいことである。 ・利用者が増えよかった。

#### 最終評価

	(中間評価時に設定した) 各種指標結果 ・預かりに参加している子どもの様子や言動から、子どもの姿を探る。 預かり保育参加者も少しずつ増えてきている。 アンケート項目 「子どもは預かり保育に喜んで参加している」(A33/49 B13/49 93% ) 「預かり保育の様子がよくわかり安心できる」(A28/49 B14/49 85% )
自己評価	分析(成果と課題)、重点目標の達成状況、次年度の課題 未就園児3歳児の預かり保育も始まり、3歳児の利用者も徐々に増えてきた。4歳児5歳児については、イベントを行う時は参加人数が増加し楽しみにしている子どもが多い。働いている方も増えてきているので、これからも預かり保育を充実させ、安心して子どもたちが過ごせる場を提供していきたい。 分析を踏まえた取組の改善 家庭的な雰囲気をもった預かり保育の場を用意すると共に、来年度新たに、パパママ先生として、PTAやOBの方に来ていただき、イベントを増やしていきたい。
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策 早朝の預かり保育利用者も増え、異年齢でのかかわりや多様な経験ができる場になっている。働いておられる保護者も増えているので、預かり保育はとても助かっておられるだろう。

#### (4) 子育ての支援に関して

具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの安全な遊びの場を提供し、保護者が相談しやすい雰囲気づくりに努め、子育てを楽しみ、子どもの成長を喜び合える保護者同士の場となるようにする。(教職員からの挨拶や声かけ)</li> <li>・幼稚園の内容を知っていただくために、ホームページや手紙などで発信する。</li> <li>・保護者から相談しやすい雰囲気をつくり、相談には丁寧に答えていく。</li> <li>・子育て学級「ぼちぼちいこか」を開催し、保護者の方同士が気軽に話せたり、時には専門の先生の話の聞いたりする場を設ける。</li> </ul>
--------	---

(取組結果を検証する) 各種指標

- ・子育て支援教育相談の参加人数、相談件数
- ・園児の増加人数
- ・教職員の意識調査アンケート「未就園児の親子の顔と名前が一致している」「未就園児の親子に必ず挨拶をしている」・子育て支援教育相談の参加人数、相談件数

中間評価

各種指標結果

2歳児ぷちいちご組があることで2歳児の子どもにとっては週2回通えるようになり、決まって登園してくれる親子が増えた。友達とのかかわりも出てきた。また、0～3歳児ひよこ組の参加者も増えてきている。

いつも明るい挨拶を教職員は心がけている。また、何度も通っている未就園児の親子の方は、ほぼ名前と顔は一致している。

自己評価

分析 (成果と課題)

教職員は3歳児いちご組クラスの親子については全員把握しており、一人一人の子どもの姿等について話し合い共通理解をしている。ぷちいちご組とひよこ組については、毎週参加して下さる方についてはだいたい把握している。

運動会に3歳児いちご組のプログラムを入れたり、未就園児のかけっこをしたりして、未就園児クラスの保護者にも在園児の姿を見ていただく機会をもてた。これからも、在園児の姿を通して西院幼稚園の保育を知ってもらいたい。

開放しているのは保育室と園庭なので、これから寒い時期になると、保育室が密になるので、懸念されるので、十分な場所を確保し、安心して遊べる環境を用意していきたい。

分析を踏まえた取組の改善

未就園児クラスの保育の充実を図り、安心して親子共に参加できるようにしていく。西院幼稚園の未就園児クラスを多くの方に知っていただき利用者の増加につなげていきたい。

(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標

前期に準ずる

学校関係者評価

学校関係者による意見・支援策

- ・子どもたちが増えてきたことはいいことである。
- ・地域には、まだまだ保育園や幼稚園に通っていない小さな子どもがたくさんいる。また、どうしたらいいか不安に思っておられる方も多い。そのような人のために、もっと幼稚園を知らせ利用してもらえるようにしてほしい。

最終評価

(中間評価時に設定した) 各種指標結果

2歳児ぷちいちご組の登録者は多いが、毎回参加されている親子は限られている。

0～3歳児ひよこ組の参加者も増えてきているが、定着はしない。

いつも明るい挨拶を教職員は心がけている。また、何度も通っている未就園児の親子の方は、ほぼ名前と顔は一致している。

自己評価

分析 (成果と課題)、重点目標の達成状況、次年度の課題

未就園児の新規の登録者数は増加しているが、なかなか定着するのは難しい。また、0歳～1歳児の子どもが増えている。乳児の遊具や落ち着いた環境を用意し、安全で安心して参加できるよ

価	うにしていきたい。マイ幼稚園制度が始まり、西院幼稚園が選んでもらえるように保育を充実させたり相談しやすい雰囲気をつくったりしていきたい。
	<p>分析を踏まえた取組の改善</p> <p>人数の増加に伴い保育室が狭くなる。人数が多いと落ち着かない環境になり危険度も増えるので安全に落ち着いて遊べる環境を整えていきたい。</p>
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <p>いろいろな家庭がある中で、幼稚園の教育相談はありがたい。孤立していた親子が増えてきている中で、公立幼稚園がその親子をしっかりと受け入れてほしい。</p>

### (5) 地域とのかかわり（社会に開かれた教育課程）に関して

<p>具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月一回の公園清掃を通し、公共の施設を大切に使う意識をもつ。</li> <li>・地域の方とのつながりを大切に、地域で大切にされているという思いが感じられるようにする。</li> <li>・学校運営協議会の方による幼稚園教育の参画の充実を図る。</li> <li>・企画委員会による絵本室の壁面づくりや絵本の修理をして活動していただく。</li> </ul>
<p>(取組結果を検証する) 各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園の行事にできる範囲で地域の方に参加してもらい、ご意見をいただく。</li> <li>・学校運営協議会企画推進委員会による園行事の参画結果</li> </ul>

### 中間評価

各種指標結果	<p>地域の方との合同の公園清掃を月1回行っている。</p> <p>来賓の方を招いて入学式や運動会を行うことができた。</p> <p>親子で参加するので地域の方とも顔見知りになり、自分たちの身近な公園を大切にしようという意識をもつことができた。</p> <p>学校運営協議会の方や企画推進委員、ボランティアの方にお世話になり、絵本室の掲示物を季節ごとに変えていただいたり、絵本の修理をしていただいたりしている。</p>
自己評価	<p>分析（成果と課題）</p> <p>地域の方に園に入ってもらっていただく機会がかなり増えてきた。公園清掃を共に行ったり、子どもたちのために修理や掲示をしていただくことで、地域の方に守られていることや大切にしているという思いが実感できているように思う。</p>
	<p>分析を踏まえた取組の改善</p> <p>公園清掃や絵本整理はかなり定着してきた。また回数を重ねる度に、親しみを感じ仲よくなれた。これからも、地域の方に園に来ていただく機会を増やし、地域の中にある西院幼稚園を目指していきたい。</p>
	<p>(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標</p> <p>前期に準ずる</p>

学校関係者評価	<p><b>学校関係者による意見・支援策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西院は地域の人みんなで子どもを育てているという思いをもってかかわっている人が多い。そして地域の文化を感じながら育てている。ふれあいコンサートやふれあいまつりなど参加することで、垣根を越えてみんなで学べる場があるのが西院である。</li> <li>・最近の傾向として地域のつながりを感じていない人が増えてきつつあるが、西院では一人で子育てをしなくていいというバックグラウンドがあるので、地域みんなで子どもを育てていく。</li> <li>・子どもは思っている以上に何でもする。大人が見本となり、子どもたちへ愛情をもち、地域が子どもを育てるというメカニズムを親も先生も知っていくことが大切である。</li> <li>・これだけ地域と幼稚園がかかわっていることを、幼稚園の PTA として知った。何かあれば地域の方が助けてくださるということを知ったり、幼稚園の後には地域があること、小学校と同じように学校運営協議会があることなどたくさんを学んだ。</li> </ul> <p>地域とのつながりを子どもの頃から感じられる西院幼稚園はとていい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校のグラウンドや園舎から子どもの声が聞こえるということとはとてもいい。</li> </ul>

#### 最終評価

	<p><b>(中間評価時に設定した) 各種指標結果</b></p> <p>地域のふれあいコンサートやふれあい祭りに参加することができた。</p> <p>地域の方との合同の公園清掃を月 1 回行っていく中で地域の方とも顔見知りになっている。</p> <p>学校運営協議会の方や企画推進委員、ボランティアの方にお世話になり、絵本室の掲示物を季節ごとに変えていただいたり、絵本の修理をしていただいたりして充実している。</p>
自己評価	<p><b>分析 (成果と課題)、重点目標の達成状況、次年度の課題</b></p> <p>地域のふれあいコンサートやふれあいまつりに出かけけることで、西院幼稚園をたくさんの方に知っていただく機会になった。</p> <p>絵本ボランティアさんの活動により、今まで教職員で行ってきた絵本室の環境準備をしていただき絵本室の充実を図ることができた。</p>
	<p><b>分析を踏まえた取組の改善</b></p> <p>これからも、地域の方とのかかわりを大切にしていきたい。</p> <p>また、卒園した保護者の方にも、絵本ボランティアとして参加していただき、幼稚園に来やすくし、PTA と OB 保護者が集まれる場を用意していきたい。</p>
学校関係者評価	<p><b>学校関係者による意見・支援策</b></p> <p>地域とのふれあいができた。地域はいつでもみているし見守っている。</p> <p>未就園児の保護者が、絵本修理のボランティア活動をみて壁面をしてくださっていることに対して「いいですね」とおっしゃっていた。これからも代々受け継いでいってほしい。</p>

#### (6) 教職員の働き方改革について

<p><b>重点目標</b></p> <p>教職員みんなが、元気に明るく働ける楽しい職場づくりを目指す。</p>
<p><b>具体的な取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員が進んで積極的に働き、自分の業務をきちんと行ったりする。</li> <li>・仕事の効率化を図り、勤務時間内で仕事を終えるようにする。</li> <li>・校務支援員の任用や、仕事を分担したり、声を掛け合い協力して仕事をしたりする。</li> </ul>

(取組結果を検証する) 各種指標

- ・教職員の勤務状況や年休取得はどうか。
- ・保護者の方が声をかけやすく、安心して子どもを預けてくれているか。

中間評価

各種指標結果

- ・年次休暇の取得の増加、仕事内容の見直しを図り、時間外勤務を少なくしてきた。
- ・教職員全員が子どもを大切に考え、自分から声をかけ、親身になって相談にのっているか。

自己評価

分析 (成果と課題)

- ・校務支援員の配属により、一人当たりの業務の軽減につながっている。
- ・保護者の方に協力いただき、年休取得促進日を設けることができ、年次休暇の取得につながった。

分析を踏まえた取組の改善

勤務時間内に業務終了できるように、時間配分を考えて業務に取り組む。また、教職員みんなで助け合いながら業務を進めていく。

(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標

前期に準ずる

学校関係者評価

学校関係者による意見・支援策

働き方改革はいいことだが、教職員と地域の方とのコミュニケーションが減り、今までは地域の行事に参加してもらっていたがなくなったり、教職員の名前や顔がわからなくなってきた。教師は異動ということで変わっていても、地域は変わらない。地域に委ねていくことも大切だ。

最終評価

(中間評価時に設定した) 各種指標結果

- ・仕事内容の見直しを図り、時間外勤務を少なくしてきた。
- ・教職員全員が子どもを大切に考え、自分から声をかけ、親身になって相談にのっているか。

自己評価

分析 (成果と課題)、重点目標の達成状況、次年度の課題

仕事の分散はできたものの、ある一方に仕事量が多くなった。また、後半につれ勤務時間以外にも業務をするようになった。次年度は、仕事内容の見直しを図り勤務時間内に終わるようにみんなで協力していきたい。

絵本ボランティアさんの活動で、教職員の仕事の軽減につながった。

分析を踏まえた取組の改善

教職員の得意なことを生かし働き方を考えていきたい。

学校関係者評価

学校関係者による意見・支援策

働き方改革は、先生が楽になるための改革ではない。働き方改革は、仕事の見直しを考え得た時間を子どものためや自分のために使うものである。